

授業だより

No. 1

押水第一小学校

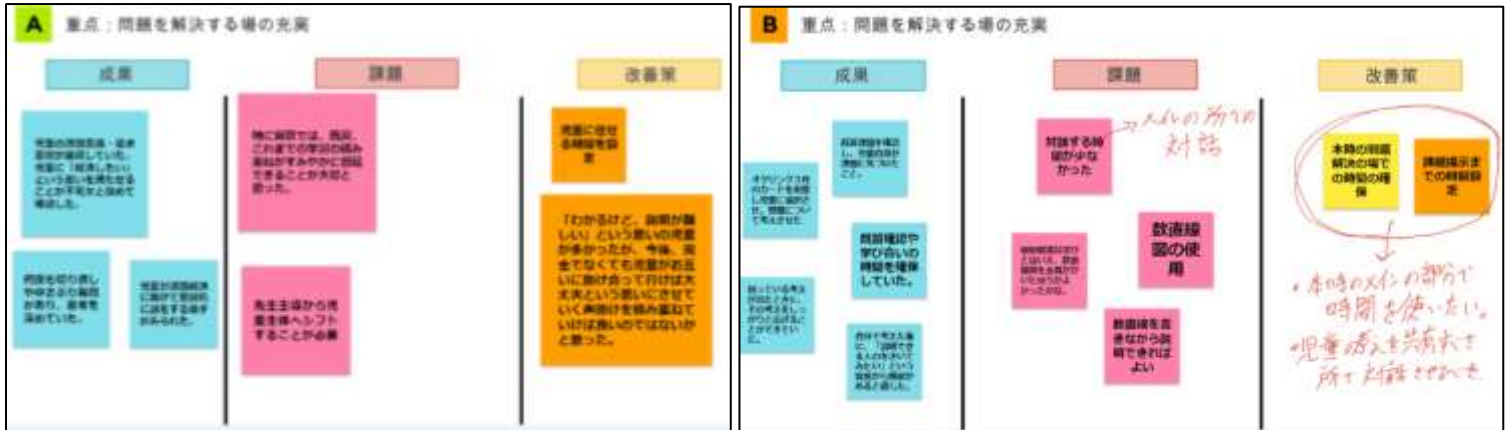
令和5年 5月 23日

5年研究授業 算数「かけ算の世界を広げよう」(授業者 川畑)

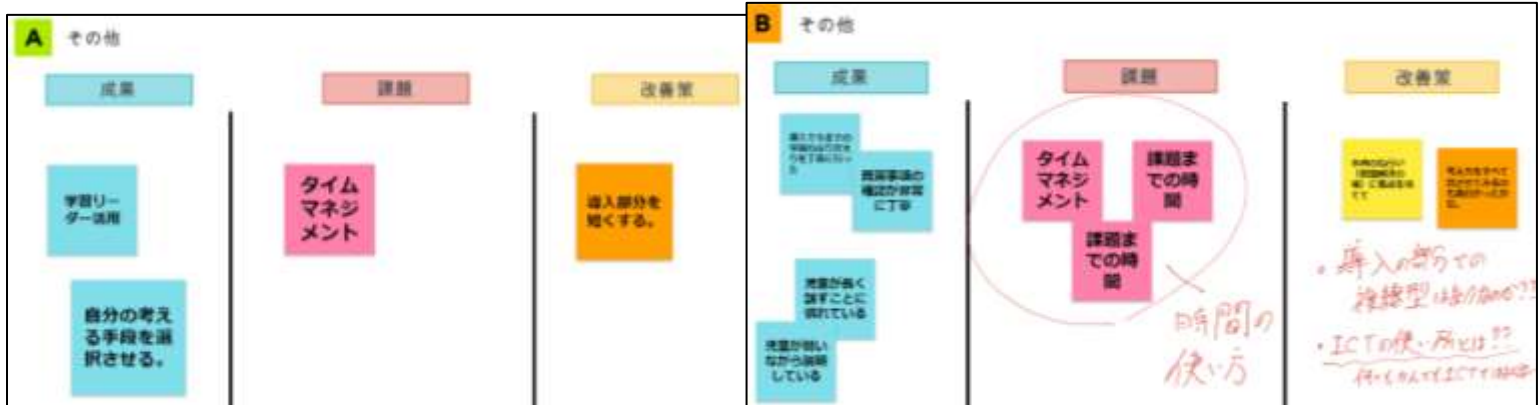
5月15日(月)に5年算数「かけ算の世界を広げよう」の研究授業を行いました。授業後には、授業整理会、中能登教育事務所の中山指導主事からの指導助言がありました。

【授業整理会～各グループの話し合いより～】

視点1:友達と対話し、問題を解決するために、「2.3 をかけるとはどういう意味なのかな」という深めの発問をする。



視点2:その他授業全般について



【指導助言～中山指導主事より～】

単元の導入について

- 単元の導入はどんどん子どもから不思議を引き出す。1時間かけてもよい。
- 単元の導入では、この単元で何の学習をするのかガイダンスし、何ができて何ができないのかをはっきりさせる。(単元の見通しをもたせ、探求課題や児童が何がしたいかをジャムボードなどを使って対話する時間を設ける。) そのためには既習が何かをはっきりさせておくことが大切である。だからこそ、単元デザインが大切になってくる。

学習の進め方、学習リーダーについて

- 対話のタイミングや相手はできるだけ児童が決める。(一人で考えてもよいし、友だちと考えてもよい、自己決定をする場を設ける。) そのためには、児童がこの人と対話したいと思えるように端末などを使って情報を共有できる状態にしておく。教師は、協働の相手は偏っていないか、孤立した学びになっているのか見取り、アシストする。
- 学習リーダーは、型にあてはめすぎるのではなく、最終的に型を外すことも考えておく。